

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る評価

1) 対象事業の名称等			
対象事業の名称	事業分野	令和5年度事業費	事業実施期間
小中高大連携による持続可能なインパクトシティののいち創生事業	まちづくり	16,400千円	令和5年8月18日から令和8年3月31日

野々市市創生総合戦略推進会議の事業の評価	
<input checked="" type="checkbox"/> ののいちデジタル田園都市構想総合戦略のKPI達成に有効であった	<input type="checkbox"/> ののいちデジタル田園都市構想総合戦略のKPI達成に有効とは言えない

ののいちデジタル田園都市構想総合戦略の位置付け
基本戦略3 魅力的なまちを創る ～地域・広域連携によるまちづくり～ 施策3-3 ふるさとづくりの推進
横断的な戦略 新しい時代の流れを力にする 施策2 SDGsの推進

2) 対象事業の概要
<p>2023年度SDGs未来都市に選定された提案書に基づき、2050年までの脱炭素社会・循環型社会・ウェルビーイング社会・自然との共存共創社会の実現を見据えつつ、本市の魅力の向上や新たな産業の創出、そして、環境意識の更なる向上を図りながら若者の定住を促進するために、経済・社会・環境の三側面を重視した事業に取り組む。</p> <p>本事業とSDGs未来都市の提案書に基づく事業を市内の小学校・中学校・高校・大学と連携し、若者が自分事として環境をはじめとした地域課題を解決する力を身につけることをより効果的に支援しながら、将来像の実現に向けて取り組みを進める。</p>

3) 令和5年度の実施内容
<p>●SDGs未来都市の推進に向けた各種ワークショップの開催</p> <p>[コンポスト] カードゲームを用い、コンポストに入れて良いものと入れられないものを学び、コンポストの存在を身近に感じるためのワークショップを開催した。</p> <p>令和5年10月28日 コンポストワークショップ 参加者25名など</p> <p>[デジタル] デジタル技術の知識・スキルの習得を図ることを目的として、ノーコードツール「Glide」を活用し、アプリやwebサイトを開発するワークショップを開催した。</p> <p>令和6年2月11日 ノーコードワークショップ 参加者13名など</p> <p>[木工クラフト体験] 自然を身近に感じ、環境を大切にすること意識や、手作りで愛着のある製品を長く使う意識の醸成を目的として、マイ小物入れ作り体験のワークショップを開催した。</p> <p>令和6年2月18日 木工ワークショップ 参加者10名など</p> <p>●アドバイザーボード会議の開催</p> <p>事業を円滑に推進するに当たって助言等を受けるため、国内外で活躍する有識者により組織するアドバイザーボードを設置し、SDGs未来都市の取組みについて意見やアドバイスをいただいた。</p>



4) 対象事業の重要業績評価指標（KPI）と実績値		〔達成率=R5実績値÷R5目標値×100〕					
KPI	市内大学卒業生の県内就職率	事業開始前	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R5実績値	R5達成率
	①	19%⇒22%	19.5% (+0.5%)	20.5% (+1.0%)	22% (+1.5%)	21.0% (+2.0%)	108%
KPI	提案型SDGs協働事業の実施数	事業開始前	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R5実績値	R5達成率
	②	0事業⇒10事業(累計)	(R6年度に事業実施)	3事業	7事業	—	—
KPI	地域の拠点を活用したリスティングワークショップの参加者数	事業開始前	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R5実績値	R5達成率
	③	0人⇒160人(累計)	30人	50人	80人	154人	513%
KPI	市民・企業向け環境ワークショップの参加者数	事業開始前	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R5実績値	R5達成率
	④	0人⇒300人(累計)	50人	100人	150人	93人	186%
事業の効果							
<input checked="" type="checkbox"/>	地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	地方創生に相当程度効果があった	<input type="checkbox"/>	地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	地方創生に効果がなかった

5) 実績値を踏まえた今後の方針	
<input checked="" type="checkbox"/> 追加等更に発展させる	(理由)
<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し(改善)	SDGs未来都市ののいちの推進に向け、提案型SDGs協働事業をはじめ、全庁をあげて取り組みを進めるとともに、関係機関と連携の上、ワークショップを中心に事業を展開し、ワークショップの受講者には知識やスキルのデジタル証明である“オープンバッジ”を発行することで、モチベーションの向上につなげていく。
<input type="checkbox"/> 事業の継続	
<input type="checkbox"/> 事業の継続の中止	
<input type="checkbox"/> 予定通り事業を終了	